

学 校 だ よ り

平成26年度の学校自己評価アンケートの集計結果について

本校の教育活動について皆様のご意見をお聞きしまして、今後の教育活動に生かすことを目的にアンケートを実施いたしました。保護者の皆様、施設職員の皆様にご協力いただき大変ありがとうございました。

回収状況は以下の通りです。

アンケート期間(10月23日～11月12日) (学区の改編により、主な関係施設が2施設から1施設に)	
保護者	【H25年度55%】→【H26年度68%】
施設職員	【H25年度13人】→【H26年度21人】

集計にあたっては、アンケートの記入項目の「A：よくできている」、「B：まあできている」、「C：あまりできていない」、「D：全くできていない」のうち、AとBを合わせて積極的評価、CとDを合わせてマイナス評価ととらえ、グラフ化しました。裏面に今年度の保護者・施設職員の方の集計結果グラフを載せています。また、学校ホームページにも年度末に公開します。

集計結果については以下の通りです。

(1) 昨年度と比較して、積極的評価の割合が高くなった項目		
保護者	⑬ 運動会、修学旅行、宿泊、西支援祭などの行事の時期や内容はよい。	(95%→96%)
施設職員		(100%→100%)
教職員	① 担任だけでなく、学校・学部で子どもの教育について考え、取り組んでいる。	(82%→89%)
	⑮ 懇談では学校から積極的な話があり、連携しようとしている	(92%→97%)
	⑳ 学校は保護者と協力して、PTA活動を盛り上げようと取り組んでいる。	(80%→86%)

(2) 積極的評価が下がり、マイナス評価が高い項目 (評価ライン:保護者・施設職員85%未満、教職員80%未満)		
保護者	⑯ 将来について考えることができる進路に関する情報提供や、相談等がもたれている。	(86%→80%)
	⑰ 学校は、必要に応じて医療、労働、福祉などの関係機関と連携している。	(93%→81%)
施設職員	⑦ 子どもにとって必要な勉強内容を選んで教えている。	(92%→76%)
	⑭ 学年や学部が変わっても、引き継ぎができています。	(77%→62%)
	⑰ 教師は障がいのある子どもの教育についての知識があり、指導にあたっている。	(100%→76%)
教職員	② 「指導に必要な教材・教具が適切に設置され、活用できるように管理されている。	(77%→77%)
	⑲ 学校HPの充実や行事案内など、外部への情報発信を積極的に行っている。	(92%→79%)
	⑳ 行事の精選や会議の運営の工夫など、ゆとりづくりのための取り組みが行われている。	(52%→51%)

また、教職員と保護者・施設職員のアンケート集計結果を比較すると、全体的には積極的評価の割合は同じような傾向でした。その中でも、評価に違いのある項目は、以下の通りでした。

(3-1) 保護者・施設職員の方が積極的評価が低い項目	
⑭ 学年や学部が変わっても、引き継ぎができています。	(6ポイント差)

⑮ 懇談では学校から積極的な話があり、連携しようとしている。	(9ポイント差)
(3-2) 教職員の方が積極的評価が低い項目	
③ 分かりやすく学習できるように、いろいろな教材教具の整備や工夫をおこなっている。	(19ポイント差)
㉑ 学校ホームページの充実や行事案内など、保護者や外部への情報発信を積極的に行っている。	(7ポイント差)

学校自己評価の結果から、来年度に向けて、以下の件について改善を図っていきます。

「引き継ぎと懇談の充実」(丁寧な説明と話し合い)



具体的な方針として、

- 個別の指導計画の作成にあたっては、個別懇談等で保護者や施設職員の方と話し合う中で、課題と次のステップを明らかにしながら、適切な学習の目標の設定を行い、指導の「手立てと支援」を具体的にお伝えします。
- お子様 の成長を確認しあい、支援の「つながり」と「継続性」を強く意識しながら、現担任が次年度の目標を作成し、次年度への引き継ぎを確実に行うようにします。

またアンケート結果から、来年度にむけて、以下の点にも取り組んでいきます。

- 児童生徒一人ひとりを大切にしたい生徒指導や施設職員の方をはじめ関係諸機関との連携を深め、特別支援教育の専門性の追求に努めていきます。
- 「支援部だより」や「進路だより」などで保護者の方々に知っていただきたい進路情報や福祉制度の情報についても提供していきます。
- 「学校だより」で学校全体の様々な取組を定期的にお伝えすると共に、ホームページの充実を図ります。

◎自由記述によるご意見(一部抜粋)

<行事について>

- ・運動会は春の実施を希望。(暑さ対策や近隣の学校の運動会と日程が重なっていること)
- ・運動会の秋開催を希望。(入学・進学して間もない時期では落ち着いた生活を送りにくい)
- ・西支援祭の時期が感染症が発生しやすい12月開催は心配
- ・参観日の午後開催や行事の日曜開催の要望
- ・小学校より行事が多いこと。懇談をはじめ親が参加することが多く、時間が取れない。
- ・防災訓練(引き渡し)を運動会など、行事終了後にするなど工夫をして欲しい。
- ・夏休み後からの行事が多い。
- ・(高等部・校外での活動は)近場で良いと思う。

(学校から)

→運動会の暑さ対策、春開催について多くのご意見をいただきました。
このことについては、学校としても昨年度より検討して参りました。その結果、平成28年度から5月下旬開催に決定し、その準備を進めています。それにより熱中症の危険性を回避できるものと思っています。ただ、新学期が始まって2ヶ月足らずという期間ですので、内容や練習については今後の検討課題です。またその他、修学旅行などの校外行事、参観日など他の行事とのからみもありますので、よく相談しながら年間行事予定を組んで参りたいと考えています。

<保護者から>

- ・子どもの特性を理解していただけると大変ありがたいです。
- ・バラエティに富んだサポートブックの講習会や相談支援ファイル「りんくる」を書き上げていく場が欲しいです。
- ・水道水を時々(生徒が)飲んでいる様ですが、大丈夫ですか？

(学校から)

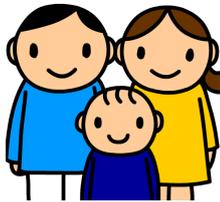
→今後とも取り組んでいきます。

→相談支援ファイル「りんくる」の記入について、来年度以降PTAの皆さんと取り組む時間を設定していきます。

→毎日の水質(残留塩素等)の検査、学校薬剤師による定期的な検査等を実施し、安全に管理しています。しかし飲用のお茶についてはご協力ください。

(裏面に続きます)

- 生徒に対する言葉遣いや生徒指導における先生方の対応について配慮して欲しい。



(表面の続き)

→生徒指導上の諸問題についてはご心配をおかけします。暴言や暴力、また落ち着きがなく不安定な傾向にある生徒の指導は、私たちも粘り強く行っているところであります。学校教育において、体罰は当然禁止されておりますし、脅しや威嚇による指導は児童生徒に対し、萎縮させ間違った価値観を植え付けるだけだと思っています。粘り強く内面の成長を図っていくことが必要です。ただその過程で一部の生徒が怒りを抑えきれず、教師や友達に手や足がでることも時にあります。そのときはその生徒と他の生徒や教員に危害が及ばないように最低限度、行動を抑制します。端からみると複数の教員で押さえつけているように見えることもあると思います。たいていの場合、しばらくすると本人も落ち着き何事もなかったように振る舞うこともできるのですが、この様子を見て、複数の教員が一人の生徒を取り囲んで怖い指導をしていると勘違いされることがよくあります。一旦生徒自身カーッとしますと、大人一人では止めることは難しくなるので複数の者で落ち着くまで行動を抑制することになっています。ただそのような事態にまでならないように、普段の指導では、生徒の人格を尊重した接し方を大切に、まずは相手の気持ちを考えられるような取組をしたり、先の見通しが持てるようなスケジュール提示をしたりするなどして、怒りやストレスマネジメントの方法を身につけるための指導を行うようにしています。今後ともご理解とご協力をお願いします。

- (転入してきた訪問部で)修学旅行が予定されていることに驚きました。嬉しかったです。
- 運動会では先生と児童・生徒と一緒に活動していて、とてもよかった。
- 先生方がいつも一生懸命子供に接して下さって本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
- 教職員の方々は古い施設設備の中で工夫され頑張っていると思います。
- 個人的には要望したことについてなど先生方にはご協力や情報開示は頂いていると思っています。
- スクールバス(Bコース) 運転手、介助員の方、とても感じが良く、対応も丁寧でこちらも安心して見送る事が出来ます。
- 連絡帳では毎日学校での様子をくわしく知らせていただいているので助かります。これからも、よろしくをお願いします。また、問い合わせした事に対して早く返事をいただきました。

<施設職員から>

- 主に高等部について、支援等について改善して欲しい。
- 児童一人一人に対して、とても丁寧に教育をしてくださっていてありがとうございます。しかし、職員間の対応が一貫できていない部分もあるように思えるので、もう少し職員間で個人個人への対応を一貫させて欲しいです。
- 高等部お迎えの際、施設職員は数人のお迎えに行ってます。少なくとも全員がそろって出発するまで必ず付き添って欲しいです。
- わかくさ学園で下校時に渡す薬袋を間違った寮に届けることが多いので、直して欲しいです。
- 不必要な情報を入れられると帰寮してから大変です。はっきりしたことが分かるまで、不確実な情報を子どもに入れないで頂けるとうれしいです。

(学校から)

- 日々の活動の中で、不十分な点については支援方法の改善に努め、教員間で共通理解が図られた支援を行います。
- 配慮の必要な生徒については、出発するまでは、対応したいと思います。また必要なときは遠慮なくご連絡ください。
- 気をつけていきます。日々の安心・安全の確認は施設職員の方と連携をとっていきます。
- 気をつけていきます。またこちらがそのことに気づいていないときもあるかもしれないので、その時には、すぐにご連絡をください。

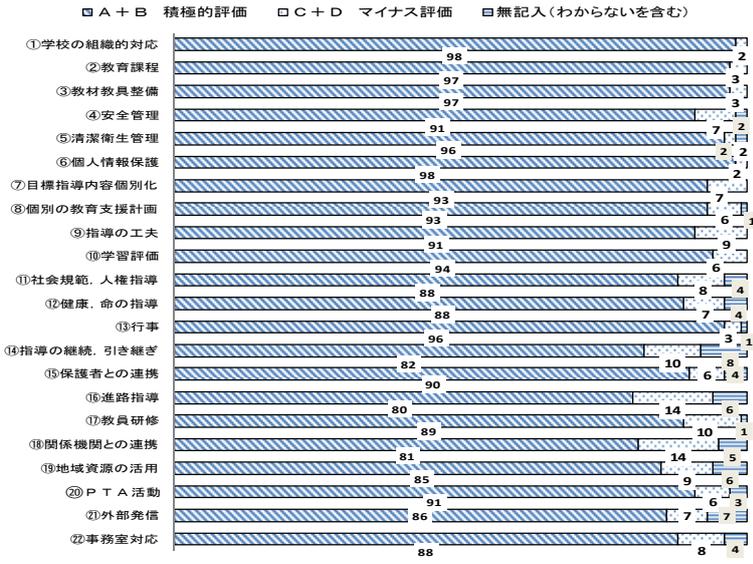
○いつもお世話になっています。今後もよろしくお願いします。

アンケートご協力ありがとうございました

(参考)アンケート結果(保護者アンケートより)

項目	26年度(回答数83名)			
	25年度	積極的評価	マイナス評価	無記入
①学校の組織的対応	99	98	2	0
②教育課程	98	97	3	0
③教材教具整備	96	97	3	0
④安全管理	95	91	7	2
⑤清潔衛生管理	94	96	2	2
⑥個人情報保護	99	98	2	0
⑦目標指導内容個別化	94	93	7	0
⑧個別的教育支援計画	96	93	6	1
⑨指導の工夫	95	91	9	0
⑩学習評価	95	94	6	0
⑪社会規範、人権指導	93	88	8	4
⑫健康、命の指導	90	88	7	4
⑬行事	95	96	3	1
⑭指導の継続、引き継ぎ	83	82	10	8
⑮保護者との連携	94	90	6	4
⑯進路指導	86	80	14	6
⑰教員研修	93	89	10	1
⑱関係機関との連携	83	81	14	5
⑲地域資源の活用	90	85	9	6
⑳PTA活動	94	91	6	3
㉑外部発信	83	86	7	7
㉒事務室対応	89	88	8	4

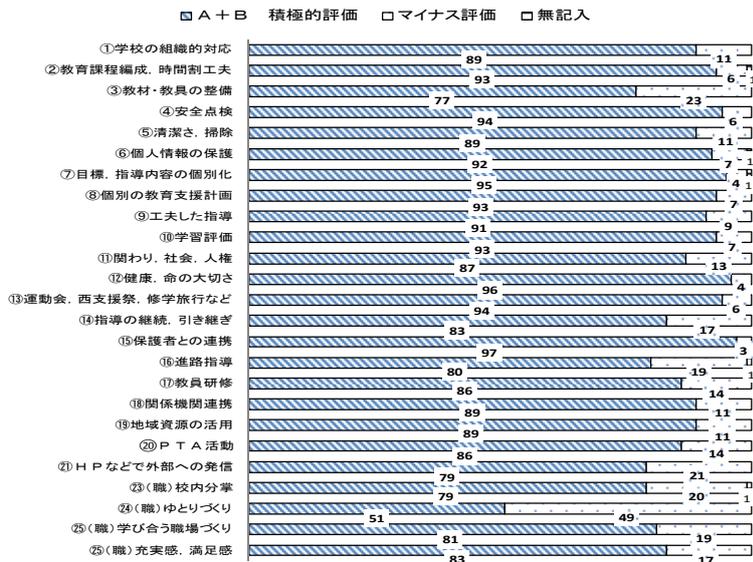
資料(1)アンケート集計結果(保護者)



(参考)アンケート結果(教職員アンケートより)

項目	26年度(回答率100%)			
	25年度	積極的評価	マイナス評価	無記入
①学校の組織的対応	82	89	11	0
②教育課程編成、時間割工夫	100	93	6	1
③教材・教員の整備	77	77	23	0
④安全点検	97	94	6	0
⑤清潔さ、掃除	89	89	11	0
⑥個人情報保護	94	92	7	1
⑦目標、指導内容の個別化	95	95	4	1
⑧個別的教育支援計画	93	93	7	0
⑨工夫した指導	99	91	9	0
⑩学習評価	99	93	7	0
⑪関わり、社会、人権	89	87	13	0
⑫健康、命の大切さ	95	96	4	0
⑬運動会、西支援祭、修学旅行など	92	94	6	0
⑭指導の継続、引き継ぎ	83	83	17	0
⑮保護者との連携	92	97	3	0
⑯進路指導	92	80	19	1
⑰教員研修	92	86	14	0
⑱関係機関連携	91	89	11	0
⑲地域資源の活用	88	89	11	0
⑳PTA活動	80	86	14	0
㉑HPなどで外部への発信	92	79	21	0
㉒(職)校内分掌	82	79	20	1
㉓(職)ゆとりづくり	52	51	49	0
㉔(職)学び合う職場づくり	79	81	19	0
㉕(職)充実感、満足感	85	83	17	0

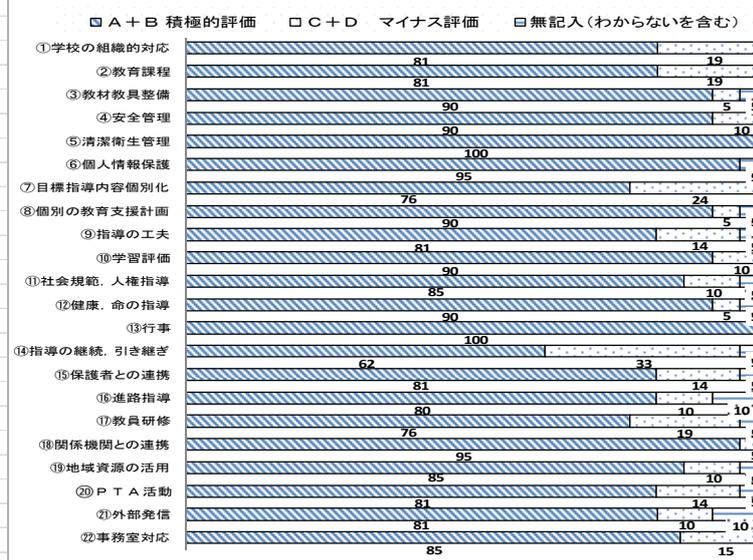
資料(2)アンケート集計結果(教職員)



(参考)アンケート結果(施設職員アンケートより)

項目	26年度(回答数21名)			
	25年度	積極的評価	マイナス評価	無記入
①学校の組織的対応	85	81	19	0
②教育課程	100	81	19	0
③教材教具整備	100	90	5	5
④安全管理	100	90	10	0
⑤清潔衛生管理	100	100	0	0
⑥個人情報保護	100	95	0	5
⑦目標指導内容個別化	92	76	24	0
⑧個別的教育支援計画	92	90	5	5
⑨指導の工夫	100	81	14	5
⑩学習評価	92	90	10	0
⑪社会規範、人権指導	92	85	10	5
⑫健康、命の指導	92	90	5	5
⑬行事	100	100	0	0
⑭指導の継続、引き継ぎ	77	62	33	5
⑮保護者との連携	92	81	14	5
⑯進路指導	100	80	10	10
⑰教員研修	100	76	19	5
⑱関係機関との連携	100	95	5	0
⑲地域資源の活用	100	85	10	5
⑳PTA活動	100	81	14	5
㉑外部発信	92	81	10	10
㉒事務室対応	100	85	15	0

資料(3)アンケート集計結果(施設職員)



(※比較のため、25年度データはわかさ学園の回答のみを使用)